

潮小学校の自然に親しもう



尼崎市立潮小学校

尼崎市立潮小学校

学校まるごとビオトープ見取り図



カワバタモロコは新聞で紹介されました
赤ちゃんがすくすく育っています

カナヘビいっぱい、爬虫類ゾーン

様々な種類の鳥が立ち寄ります



南門と北門にある看板

雑草広場カワバタモロコの採集池



いろいろなトンボも訪れます



バタフライガーデンにはいろいろな蝶がきます



毎年、5年生が水田を担当します

小川が流れる水辺のビオトープ



草原ビオトープ
(バッタとカマキリの原っぱ)



子どもクラブ



1. うしおっこガーデン (水辺ビオトープ)

当時の6年生が命名、「うしおっこガーデン」!

(水辺ビオトープ造営前 平成21年)

(造営後 平成25年)

Before



After



ビオトープ完成後も活動は続けられ、毎年5年生が担当することになっています。維持管理だけでなく、虫ゾーンや堆肥枠の設置など、年度ごとにより良い生物環境を考えて活動しています。



道の木は、当時の5年生が自然学校(丹波少年自然の家)の時、林業体験で切った木を使用しています。

平成21年に創立50周年記念事業として、水辺のビオトープづくりを地域の支援協力を得て、スタートさせました。全校児童から、デザインを募集し、その中から選んで作り始めました。



2. バタフライガーデン



学校にチョウを呼ぼう！

平成21年に毎日新聞、花博協会後援の生態園づくり対象校に選定され、チョウを呼ぶバタフライガーデンが完成しました。毎年、3年生が管理・啓発を担当し、伊丹市の昆虫館を見学したり、花壇にチョウが好む花を植えたりしています。



平成20年度の3年生がバタフライガーデン完成記念写真。毎年、3年生が引き継いでいます。



平成21年には、バタフライガーデン内に田んぼを新設！

毎年、6月初めに5年生全員で田植えをします。夏になると、田んぼからカエルの鳴き声が聞こえ、生き物のすみかとしての「田んぼビオトープ」になります。10月に収穫をむかえ、環境教育とともに、食育としても活用しています。



夏休みに子どもたちがネットを張りました！



3. うしお池

中庭にある「うしお池」では、兵庫県の絶滅危惧種カワバタモロコ（絶滅危惧ⅠB類）を保護する活動を、4年生が中心となって取り組んでいる。兵庫県立人と自然の博物館の田中哲夫先生を講師に招き、池の環境作りを進めてきた。1年後の個体数調査では、少なくとも360匹はいることがわかりました。田中先生いわく「小学校で繁殖に成功したのは、潮小学校だけ」だそうです。



カワバタモロコ 校庭で増やそう

尼崎・潮小の児童が放流

県のレッドデータブックで絶滅危惧Aランク（絶滅危機に類している）に分類されている淡水魚のカワバタモロコを増やす取り組みが、尼崎市潮江2丁目の市立潮小学校で始まった。神戸市北区のキリンビール神戸工場にあるビオトープに生息しているものをわけてもらい、22日に4年生の子どもらが校庭のビオトープの池に40匹を放った。

カワバタモロコは県内では約20カ所の池で確認されているのみで、同日は三田市の県立人と自然の博物館の田中哲夫・主任研究員(62)から「稚魚の天敵になるキンギョやフナを池に入れないで」と指導を受けながら作業をした。東江野乃花さん(9)は「いっぱい卵を産んで、ちゃんと育ててほしいです」と話していた。（森直由）

キリンピアパークから、譲り受けた40匹のカワバタモロコ

1年後には、390匹、約10倍に増えました！



夏には、国の準絶滅危惧に指定されているガガブタが開花します。うしお池は、まさに生き物にとってのオアシスです！

4. 学校ビオトープの生き物たち（動物編）



ハクセキレイ



エゾムシクイ



?



ムクドリ



カワウ



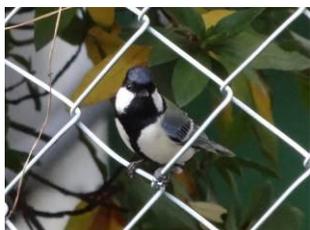
ヒレンジャク



メジロ



ハシボソガラス



シジュウカラ



ヒヨドリ



潮小学校は、都市の中心に位置しますが、校内に鳥が食べる実や虫が多くあるので、様々な野鳥をみることができます。



15cm以上のアシダカグモ！

学校の人気者カナヘビ。暖かい日に中庭やバタフライガーデンで見られます。

5. 学校ビオトープの生き物たち（植物編）



6. 子どもたちとのかかわり（5年生を例に）

生き物がぐんぐん育つ潮小学校。それを生かして、各科目とかがわった活動が行われています。



4月、バタフライガーデンのアブラナを使って、花のつくりを調べています。



5月、水辺ビオトープのメダカ（原種）の卵を解剖顕微鏡で観察。だんだんと魚の形になる様子を見ることができました。



6月初旬、田植え。田起こしから子どもたちが行います。写真は浮草とりの様子。



9月、育ててきた巨大カボチャを収穫。顔より大きくてびっくり！！



10月、カボチャをくりぬいてジャック・オ・ランタンにしました。潮小カーニバルでも展示されていました。



10月、稲の収穫。初めてかまを使いました。この後、粳搥りも体験します。

7. 地域の方々との交流

• 平成27年9月26日

この日は、尼崎市立小田公民館の主催で「街で身近な自然を楽しもう」（親子植物セミナー）が開催されました。地域の皆様をはじめ、潮小学校の児童や市内小学校の小学生も保護者同伴で参加してくれました。



セミナーでは、講師の畑先生から潮小学校に生息している植物を使っていろいろな遊び方を教えてもらいました。

潮小学校 環境学習への取り組みと成果

- 平成 8年 学校ビオトープづくりを始める。
- 9年 尼崎市指定環境教育研究発表、全国小中環境教育賞受賞
- 11年 小学校学習フォーラムにて環境教育について発表
- 21年 バタフライガーデン完成
- 21年 生態園づくり 2008年対象校選定（毎日新聞・国際花博協会）
- 21年 創立50周年記念式典（水辺ビオトープづくりの開始）
- 22年 全国学校ビオトープコンクール2009 銅賞受賞
- 22年 愛鳥モデル校認定（兵庫県）
- 23年 水辺ビオトープ完成（お披露目会）
- 24年 全国学校ビオトープコンクール2011 日本生態系協会賞受賞
- 24年 日本鳥類保護連盟会長賞受賞
- 26年 全国学校ビオトープコンクール2013 日本生態系協会賞受賞
- 27年 全国学校ビオトープコンクール2015